



2018年11月から、緩和ケア病棟（本館棟11階）が稼働しました。緩和ケア病棟では、がんによって生じる色々な苦痛に対して、患者さんが「その人らしく」穏やかな日々を過ごせるように、身体や心のつらさを和らげることを目標に医療・ケアを行っています。

日本の高齢化に伴う「多死社会」の到来で、緩和ケア病棟は「ゆっくり穏やかに療養する病棟」から「苦痛緩和を優先して行う病棟」へと、その役割も変化してきました。

皆さんは、もしも命に関わる大きな病気をして具合が悪くなったとき、どこでどのように療養したいと

考えているでしょうか。命の危機が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアの望みを人に伝えることができなくなると言われています。自らが希望する治療やケアを受けるためには、大切にしていることや望んでいること（価値観）を、日頃から周囲の信頼する人たち（家族や医療者）と話し合い共有することが重要になります。

緩和ケア病棟でも、自分らしく生きる道しるべと一緒に考え、その人の望む生活が実現できるようケアを届けていきたいと思えます。

看護局 緩和ケア認定看護師 富山 淳江